



東秩父中学校だより

村の宝（子ども）が輝く学校

令和7年12月24日

第9号

文責 田端 隆二

今後、学校に求められることは

本日をもって2学期が終わります。今学期は、キャリア教育講演会に時事通信社の坂本建一郎様、50周年事業記念講演に植松電機の植松努様、特別道徳授業に元大空小学校長の木村泰子様、起業家講座ではミラクルの井戸一喜様など、外部から講師としてご来校いただき、様々な立場から皆さんに貴重なメッセージをいただきましたが、私たち職員にとっても大きな学びとなりました。

これらの方々からのメッセージをまとめて、私なりの解釈してみました。

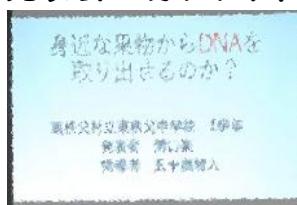
日本の人口は明治維新以降150年間も増え続け、私たちが育った時代は人に言われたことをただこなしていればなんとなく経済は潤っていた。いい学校へ入り、いい会社には入れれば一生安泰。従順で一生懸命働く人材が求められ、その型枠に入れない者は競争により選別された。夢をあきらめた人も多くいたのだろう。しかし、選ばなければ人も多いので仕事もあり、社会は成り立っていた。

しかし、今は誰も経験したことがない人口減少。グローバル情勢は混迷し、生成AIなどのデジタル技術の急速な発展など先行きは不透明。子どもたちはさらに変化の激しい中を生きていくことになる。生産人口は急激に減少していく社会では、あらゆる資源を総動員し、すべての子どもが自分の持つ豊かな可能性を開花させなければならない。その貴重な子どもたちに対し、あきらめ方を教える学校になってはならない・・・。

皆さん、どのように考えたでしょうか？<終業式講話より>

比企地区理科教育研究発表会

11月19日(水)小川町竹沢公民館において小川班理科教育研究発表会が行われ、本校から1年生が代表生徒として出場しました。身近



な果物からDNAを取り出せるかという研究成果を発表しました。身近な疑問から科学的根拠に基づいて仮説をたて、様々な実験を通して立証し、考察を加えるという素晴らしい発表でした。かなり緊張したようですが、堂々と発表できました。



『青春の宝』となる学び

今月3日～5日に2年生は「学縁笑春」のスローガンのもと、京都・奈良方面に修学旅行へ行ってきました。今年は昨年度と打って変わって寒気に見舞われ、特に2日目の朝は一足先に初雪を味わってきました。この3日間、責任と思いやりのある行動が随所に見られ、個人としても集団としても確実に成長していることを実感した3日間でした。



職場体験お世話になりました

2年生が修学旅行に行っている間、村内8つの事業所にご協力いただき、1年生による職場体験が行われました。学校では学べないことをたくさん学べたようです。地域あっての教育活動を再認識いたしました。



栄養教諭が表彰されました

先日 11月5日(水)さいたま市において、埼玉県教育委員会より教育功労者及び優秀な教職員の表彰式が行われ、本校の栄養教諭が「れんたつ教職員」として表彰されました。当該教諭は楳川小学校で8年間、本校で3年間つとめられ、給食や食育を通して私たちの健康を守ってくださっています。強い信念のもと、小規模校だからこそできる創意工夫に満ちた活動が認められての受賞です。おめでとうございます。



新しい体操着について ~選択の幅を増やします~

現在皆さんが着用している体操着などを販売していた小川町の業者が、現行モデルの代理販売ができなくなり、写真のような新しいモデルの提案がありました。

現行のものは、卸業者からWEBによる販売継続の依頼があり、学校としては現在の制服同様、新しいモデルに切り替えて統一するのではなく、現行モデルも新しいモデルもご家庭の判断で選べる形をとりたいと思います。もちろん旧タイプの物も着用できますのでご安心ください。



みなさん頑張りました

郷土を描く美術展(入選):3年生、1年生

身体障害者福祉のための埼玉県児童生徒美術展(入選):3年生、1年生

小川班理科教育研究発表会(優良賞):1年生

税の標語(東秩父村長賞):1年生 同(東秩父村教育長賞)1年生

人権作文コンテスト地区予選優秀賞:3年生、2年生、1年生

明るい選挙啓発ポスター入選:3年生、2年生、1年生

家庭・地域のみなさまへ

おかげさまで、今年度も無事に2学期終業式を迎えることができました。

大きな事故もなく過ごせたこと、生徒たちの笑顔やがんばる姿にたくさん立ち合えたことをとてもうれしく思います。そこで、たくさん勇気をもらいました。今後ともよろしくお願ひいたします。